

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
2022年度第12回（2月）理事会議事録

- ◇日 時： 2023年2月9日（木）19時00分～20時30分
- ◇会 場： Web 会議併用（公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 事務所）
- ◇出席者： （事務所参加）増田、上田、山西、梶、安保、岡本、谷川、上地、赤木、喜舎場、竹村、是永、藪、堀田、佐藤、豊田、井戸田監事、高田参与、竹浦参与
（Web 参加）久保田、山田
- ◇議 長： 増田
- 本理事会は Zoom 会議システムを用いて理事会を開催する旨を宣言し、意見表明が互い
にできることを確認し議案の審議に入った。

【 討議内容 】

I. 行動報告（1月分）

日	行動内容	役員名
8	令和5年新年互礼会	増田、山西、上田、梶、久保田、山田、安保、谷川、岡本、上地、竹村、赤木、豊田、佐藤、堀田、喜舎場、藪、是永、井戸田、竹浦、高田
8	第6回大臨技医学検査学会（ポスター送付作業）	梶、安保、上田、佐藤、藪、岡本、赤木、喜舎場
12	第11回理事会	（事務所）増田、山西、上田、梶、久保田、岡本、上地、竹村、赤木、佐藤、堀田、喜舎場、藪、是永、柴、井戸田、竹浦、高田、豊田 （Web）山田、安保、谷川
14	令和4年度第2回核酸増幅検査（PCR等）実技研修会	増田
14	2022年度大臨技施設連絡者会	梶、谷川、藪、堀田、是永（web）上地、赤木、豊田
17	渉外部会	（事務所）岡本、喜舎場 （Web）赤木、上田
18	総務庶務・広報編集・会計部会	（事務所）山西、梶、上地、堀田、喜舎場、是永 （Web）久保田、山田、佐藤、豊田、藪、赤木
20	組織部会	（事務所）是永、藪、谷川 （Web）上田、堀田
21	令和4年度大臨技・大放技合同フ	（現地）増田、高田、佐藤、岡本、喜舎場、上田、上地、

	オーラム	豊田、山田、安保 (Web) 赤木
21	日臨技理事会	高田
25	2023 年度予算審議会	(事務所) 増田、山西、上田、梶、久保田、安保、上地、 是永、柴、井戸田 (Web) 山田、岡本、喜舎場
25	第 10 回常務理事会	(事務所) 増田、山西、上田、梶、久保田、安保 (Web) 山田
26	第 6 回大臨技医学検査学会実行委員会	(事務所) 上田、梶、安保、豊田、堀田、佐藤、藪、 是永 (Web) 増田、山田、久保田、谷川、岡本、上地、赤木、 喜舎場
27	第 6 回大臨技医学検査学会症例検討打合せ	(事務所) 安保 (Web) 増田、佐藤、豊田
28	北地区オープンセミナー	上田、堀田
29	タスク・シフト/シェア講習会	上田、梶、谷川、赤木、是永

II. 経過報告

1. 事務局

〈総務庶務部〉(報告者：梶副会長) 1月18日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 令和5年新年互礼会後について報告した。
- (2) 会長賞盾、会長賞文面について検討した。
- (3) 年輪Ⅶの進捗について検討した。
- (4) 部門からの会計報告の変更についての提案を検討した。
- (5) LINE Pay について検討した。

〈広報編集部〉(報告者：山田常務理事) 1月18日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 大臨技ニュース1月号 Web 版を発行した。
- (2) 大臨技ニュース12月号(第409号)の編集作業を行った。
- (3) ホームページの更新を随時行った。

2. 財務局

〈会計部〉(報告者：山西副会長) 1月18日(水) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 事務員1月給与を支給した。
- (2) 2023年4月からの会計運用変更とLINE Pay について検討した。

3. 事業局

〈渉外部〉(報告者：上田副会長) 1月17日(火) Web 会議併用にて開催した。

- (1) 2022 年度大臨技大放技合同フォーラムの最終確認を行った。
- (2) 第 12 回大臨技がんフォーラムについて検討した。
- (3) 2022 年度冬季献血推進活動（通算 59 回）について検討した。
- (4) 第 6 回大臨技医学検査学会渉外部企画について検討した。
- (5) 大臨技「検査と健康展」について検討した。
- (6) 2023 年度渉外部事業について確認した。
- (7) 理事会報告を行った。

〈組織部〉（報告者：上田副会長）1月20日（金）Web 会議併用にて開催した。

- (1) タスク・シフト/シェア講習会の開催ならびに予定について報告を行った。
- (2) 施設連絡者会の開催報告を行った。
- (3) 災害 LINE 連絡網による情報収集に関して検討した。
- (4) 大臨技学会ワークショップの進捗報告を行った。
- (5) 2023 年度新入会員研修会について検討した。

〈学術部〉（報告者：安保常務理事）開催なし

- (1) 大臨技医学検査学会の特別企画についての検討（Zoom、メール）を行った。

〈精度管理部〉（報告者：竹村理事）1月27日（金）メール会議にて開催した。

- (1) 標準化サーベイ報告会について検討した。

III. 報告事項

1. 職務執行状況報告について（会長・副会長・常務理事）

- (1) 増田会長、梶副会長、上田副会長、山西副会長、山田常務理事、安保常務理事、久保田常務理事、竹村理事より職務執行状況についてそれぞれ報告が行われた。
- (2) 2023 年 1 月における役員行動報告・役員各部報告があった。

2. 2023 年度 1 月事業開催状況報告について（梶副会長）

- (1) 上記について資料が示され確認した。

3. 2022 年 12 月予算執行状況について（柴監事）

- (1) 参加費収入は予算の 69%に達しているが支出は 53%であるので収支相償の面で気を付けてほしい。
- (2) 年度末まで 10 万円を超える未執行額を抱えている部門が 17 件あるので年度末に向けての支払いに注視してほしい。
- (3) 事業の収支がないことや手元に現金がない場合は月次報告の必要はない。
- (4) 事業開催が集中的にある一定の時期にある場合は事業費の支給を年度初めにせず必要な時期に支給してもらって事業残金を早々に返金すれば月次報告の期間が短くて済む。
- (5) 特定費用準備資金積立についての説明があり運用するならルール作りが必要である。

4. 令和5年新年互礼会決算報告について（上地理事）
 - （1）収入については参加費と祝儀を合わせて660,000円、事業予算が1,000,000円であり支出が1,505,931円であったので返金が154,069円発生したと報告された。
 - （2）開催日について次年度は日程や時間をもう少し遅くできないか会場側に確認したが難しいとの回答であった。
 - （3）次年度は大臨技一般会員や部門委員の参加をもっと増やすように努力する。
5. LINE公式アカウントの件（山田常務理事）
 - （1）現在の登録人数は8名である。
 - （2）3月号大臨技ニュースに掲載して登録を募り、講習会・イベントのお知らせ・アンケート調査に運用する予定である。
6. 超音波診断装置の購入について（梶副長）
 - （1）2台購入することが決まっております26日までは納品される予定である。
 - （2）ゼリーウォーマーを提供してもらえなくなったと報告があった。
7. 第12回大臨技がんフォーラムについて（岡本理事）
 - （1）2月11日にツイン21MIDタワーで開催される。
 - （2）大阪市と大阪府に後援をもらったと報告された。
 - （3）今後の渉外部活動を大阪府の「健活10」という取組で使用している「アスマイル」というアプリを用いて宣伝する予定である。
8. 第6回大臨技医学検査学会 府民公開講座のポスターについて（安保常務理事）
 - （1）上記についてのポスターが提示され広報を依頼した。
9. 共催申請について（梶副会長）
 - （1）微生物学部門から「臨床検査技師のための感染症・微生物学セミナー」のHP掲載申請が承認されずすでに掲載していると報告があった。
10. 各部員の委嘱状発行について（上田副会長）
 - （1）委嘱状が必要な場合は2月中旬ごろまでにリストを上田副会長に送付する。
 - （2）兼業届が必要な場合は各施設の様式を送付してもらう。
11. 予算流用の申請方法について（梶副会長）
 - （1）予算流用申請については現在修正中で2月の総務部会で再検討して3月の理事会で承認してもらう予定である。
12. その他
 - （1）検査と健康展について（喜舎場理事）
 - ・3月4日イオンモール大日で開催の検査と健康展で実務委員が不足しているので応援をお願いした。
 - ・守口市の後援を得た。
 - ・アクリル板や物忘れチェック機材などについて物品借用書が提出されて承認さ

れた。

(2) 日臨技報告について (高田参与)

- ・清水前理事の地域貢献賞の受賞が確定した。
- ・持続グルコース測定装置の読み取りについて医行為ではないと記載されており、タスク・シフト/シェアでは医行為であるとの記載で齟齬が生じているので厚生労働省に確認している。
- ・3月から臨地実習指導者研修会は各施設1名というしぼりがなくなり複数名が可能になる。
- ・タスク・シフト/シェア講習会の他県での参加が可能になる。
- ・検体採取講習会を日臨技主催で、大阪で1回(9月)、東京で2回開催する予定である。

(3) タスク・シフト/シェア講習会について (谷川理事)

- ・12月開催で延期になった分は4月9日に開催する。
- ・今後の開催予定は4月16日と5月14日である。

(4) 企業所属の部門委員について (梶副会長)

- ・個人会員であれば部門委員として承認される。
- ・賛助会員のみである場合は認められないので確認をとる必要がある。

(5) 研修会の参加者減少について (安保常務理事)

- ・大臨技ニュースから行事スケジュールを見ようとするとフリーズする現象があったことが原因するのではないかと⇒広告データが重いのが原因であったが現在は解消されている。

IV. 議 題

1. 2023年度事業計画について (梶副会長)

- (1) 検体管理システム部門を総合管理部門に名称を変更することについて追記する。
- (2) 2023年度から技師長会事業を廃止することを追記する。
- (3) 内容が確認され承認された。

2. 担当部門の見直しについて (増田会長)

- (1) 技師長会は法改正や多職種医療関係者との共同作業などにより現状にそぐわない部分が生じてきているので事業を廃止することが承認された。
- (2) 検体管理システム部門はAIの導入やタスク・シフト/シェアにより総合的な管理が必要だと考えられるので総合管理部門と名称変更することが承認された。

3. 2023年度事業予算について (山西副会長)

- (1) 2023年度各部事業予算案をもとに計算すると2023年度の収支相償は3,091,000円の赤字、公益目的事業比率は67%となり予算案が承認された。
- (2) 柴監事から参加費収入も予算どおりの数字となるように気を付けてほしい

と助言があった。

(3) 公益法人へ提出する文書の締め切りを3月7日としているので協力をお願いした。

4. 第6回大臨技医学検査学会補正予算について (安保常務理事)

(1) 実務委員の謝礼が3,000円から5,000円に変更になったことやパソコン関連の準備を日本旅行にお願いすることにより当初の予算より費用が増える見通しとなった。

(2) 当初の予算4,260,000円から5,042,621円+αの費用が発生する案で承認された。

(3) 参加証のデザインが提示され決定した。

5. 部門からの会計報告の変更について (久保田常務理事)

(1) 会計ソフトが新しくなることにより月次報告や決算報告が変更になり、より簡便になる。

(2) 会計ソフトの説明会を3月理事会開催前に30分ほど時間を設けて開催する。

6. 講師等の支払い方法について (梶副会長)

(1) 委員への会議費や交通費の支払と講師への支払を現金支払から振込にすることが承認された。

(2) 支払方法はラインペイや振込代行業者にお願いする予定である。

7. 公文書のPDF化について (梶副会長)

(1) 公文書の保存を従来は用紙でファイリングしていたがPDF化して保存することが承認された。

8. 大学院生の登録について (梶副会長)

(1) 大学院生が大臨技登録学生に登録可能かどうかとの問い合わせがあり臨床検査技師を志す学生であれば登録学生とみなすという見解になった。

9. 令和4年度会長賞について (上地理事)

(1) 各学校からの推薦書5名分が示され受賞者が承認された。

(2) 会長賞の盾と表彰状の詳細が示され承認された。

10. その他

(1) 講師の駐車場代支払について (岡本理事)

・がんフォーラムの講師の方が自家用車で来る場合、駐車場代を支払っても良いかという質問があったが以前にも駐車場代としての領収書があれば支払った事例があるので承認された。公共交通機関との二重払いは認められない。

(2) 次年度の看護の日について (岡本理事)

・300名規模のイベントを開催する予定だが新型コロナウイルス感染前のように腹部エコーやヘモグロビン測定をしてもいいかという質問があったが新型コロナウイルス感染症は5類に引き下げられる予定なので現地実施が承認された。